



Windows XP および Office2003 サポート終了に伴うバージョンアップ等 対応のお願い

マイクロソフト社のオペレーティングシステム(OS)Windows XP とビジネス用アプリケーションソフトOffice2003のサポートが2014年4月9日で終了します。

サポート終了までに、バージョンアップなどの対策を必ず実施してください。サポート終了後は、セキュリティのリスクが非常に高くなります。当該ソフトウェアがインストールされたコンピュータは、決してネットワークへ接続しないでください。

※Windows XP・Office2003より以前に発売されたOSやOfficeも同様です。



○サポートを終了しても、まだ使えるから大丈夫と考えていませんか？

セキュリティ更新プログラムの提供が終了すると、脆弱性による危険が高くなりますので、ネットワークに接続して利用することは非常に危険です。攻撃者の格好の標的となってしまいます。



○漏洩して困るような情報をもってないから大丈夫と考えていませんか？

メールソフトのアドレス帳にある連絡先なども重要な個人情報です。また、自分のコンピュータが踏み台となり、他のコンピュータにウイルスを送りつけることもあります。



○ウイルス対策ソフトがインストールされているから大丈夫と考えていませんか？

セキュリティ上の脅威には、OSの更新プログラムの適用、マルウェア対策など、多くの防御策が必要です。さらにWindows XPはWindows8と比べるとマルウェアの感染リスクが既に高いとの報告があります。

ウイルス対策ソフトだけでは、対応できません。

現在使っているコンピュータが、ソフトウェアに必要なハードウェアの要件を満たしていない場合は、バージョンアップができません。

たとえば、Windows7に必要なハードウェアの要件は、次のとおりです。

- 1 GHz以上のプロセッサ
- 1 GB のメモリ(32ビット) または 2 GBのメモリ (64ビット)
- 16 GB (32ビット)または 20 GB (64ビット) の空き容量のあるハードディスク など

ハードウェアの要件を満たさない場合は、ハードウェアも替える必要があります。



ITハウス窓口

時間：月曜日～金曜日10:30から18:00

(11:30から12:30の間は昼休みです)

場所：ITラボ102

電話番号：内線6090

メールアドレス：support@it-house.teikyo-u.ac.jp

WebサイトURL：http://www.it-house.teikyo-u.ac.jp/